

地区インターアクト年次大会

国際ロータリー第2510地区 ローターアクト委員

菊地 啓介
(札幌モーニングRC)

6月17日（土）、18日（日）の2日間にわたり、RI2510地区インターアクト年次大会が滝野青少年山の家にて開催されました。

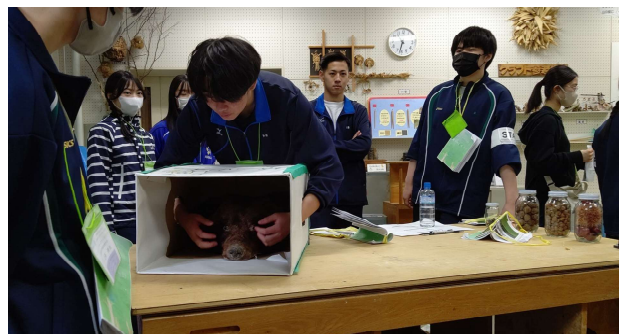
この年次大会は、2510地区の6校のインターアクトクラブのインターアクターが一堂に会する年に一度の機会であり、今年はコロナによる開催を左右されるような心配もなく無事開催することができました。参加者も6校のインターアクター109名、顧問教諭12名、石丸ガバナー、福見インターアクト委員長をはじめロータリアン18名の参加をいただきました。また、ホスト校である札幌龍谷学園高校の川口校長、田中先生、矢野先生には関係各所への連絡から当日の進行等と細部にわたるご準備をいただきまして、深く感謝申し上げます。



1日目のプログラムは、集合したばかりの皆さんはやや堅い雰囲気でしたが、数人のグループに分け、アイスブレイクを行いました。龍谷高校のインターアクターが用意した問題に自然に和気あいあいと会話が弾み、すぐに皆さんの距離が近いものになりました。続いて、野外でカレーの炊事を行いました。薪割りでは細く割ることに苦労していたように見受けられました。また、調理では、米を焚く量が多いため水の加減や家庭の調理器具とは違う火力調整に悪戦苦闘していました。そんな苦労の甲斐があって、各グループ唯一無二の美味しいカレーが完成し、私も美味しく野外の爽やかさを感じながらいただきました。そして、メインイベントのキャンプファイヤーへと移りました。ここでも、龍谷高校のインターアクターが仮装によるパフォーマンスをして場を盛り上げ、マイムマイムはどの時代でも楽しく踊れる楽曲であることを実感致しました。



2日目は、「野外でウォークラリー」と題して、野外を中心にポイントごとにクイズをしながら自然を散策するというもので、これまた龍谷高校のインターアクターが総出で、各ポイントに張り付き、他校のインターアクターをお迎えします。クイズは、生物、植物、数学、気候と多岐に渡り、解説を聞くことで、とてもよく調べてクイズにされていることがわかりました。散策はいつの間にか、環境にまつわる知識を楽しく習得していたことに気づきました。



全てのプログラムを終了し、各校から代表による感想発表がされ、たくさんのつながりができたこと、自然との触れ合いができたこと等、若さ溢れるコメントに頼もしく感じました。

年次大会は、インターアクターにとって大きな学び、成長へと繋がる重要な大会であることを実感致します。ロータリアンの皆様にはこの年次大会と一緒に楽しんでいただけますと嬉しい限りですし、この活動にご理解をいただきましてご支援をいただけますと幸いです。

